

2007年7月3日
東日本旅客鉄道株式会社

山形新幹線「つばさ」用車両の新造について

山形新幹線は、初の新幹線在来線直通運転として1992年に開業したのち、1999年には新庄への延伸を行い、この間多くのお客さまにご利用いただいております。

今回、山形新幹線「つばさ」で開業以来使用している400系新幹線電車を新型車両に取り替えます。

新造する車両は、新庄延伸時に増備したE3系新幹線電車をベースとし、乗り心地の向上や車内の快適性の向上を図った車両とします。車両の特徴は以下のとおりです。

新幹線区間を高速で走行する際の左右振動を軽減するために、「はやて」「こまち」に搭載している動揺防止装置(アクティブサスペンション)を全車両に装備し、乗り心地を向上します。空気清浄機を全車両に装備します。

車内の情報案内表示装置や行先表示装置を大型フルカラーLEDとし、わかりやすいご案内を行います。

座席付近に電源コンセントを設置し、パソコン等の使用環境を向上します。

各車両にインタフォン型非常通報装置を装備するほか、各出入口付近等に防犯カメラを設置するなど、より安心してご乗車いただける車両とします。

1. 新造両数 84両(7両×12本)
 (既存のE3系3本は存続します)
2. 投入時期 2008年12月から2009年夏頃にかけて順次営業運転に使用する計画です。
3. 車両の運用 東北・山形新幹線 東京～山形・新庄
4. 車両の概要 別紙参照

山形新幹線「つばさ」用E3系の概要

【E3系外観(イメージ)】



人に優しい車両

- 乗り心地の向上
 - ・動揺防止制御装置(アクティブサスペンション)を全車両に装備
- 快適な車内環境
 - ・空気清浄機を全車両に装備
- 腰掛・トイレ等の機能向上
 - ・グリーン車腰掛にレッグレストを装備
 - ・普通車腰掛に足載せ台を装備
 - ・多目的トイレへ更衣台・姿見鏡を設置
- バリアフリー
 - ・電動車椅子をご使用のお客様が使用可能なトイレを設置
 - ・出入り口ドアが開く際に音声とランプでご案内

【諸元比較】

形式	E3系	400系
編成	7両(5M2T)	7両(6M1T)
車体	アルミニウム合金製車体	鋼製車体
最高速度 (車両性能)	275km/h	240km/h
制御方式	VVVFインバータ制御 交流電動機	サイリスタ位相制御 直流電動機

情報環境を向上した車両

- ・大型フルカラーLEDによる情報案内装置の設置
- ・電源コンセントの設置
(グリーン車;各座席、普通車;窓側および車端部)
- ・A4サイズノートパソコンに対応したテーブルを装備

【400系】



より安心してご乗車いただける車両

- ・防犯カメラを各出入口付近等に設置
- ・各車両の非常通報装置に乗務員との対話機能を追加
- ・トイレに喫煙検知装置を設置